

## 消防団充実強化に係る取組事例

NO.	19-1	分野	1. 加入の促進 (4) 公務員	作成年月	令和元年8月
地方公共団体名	山梨県 甲斐市		担当課	防災危機管理課	
連絡先	Tel 055-278-1676 E-mail <a href="mailto:shoubou@city.kai.yamanashi.jp">shoubou@city.kai.yamanashi.jp</a>				
タイトル	市の新採用職員を消防団で研修				
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○甲斐市の新規採用職員は、消防団に2年間入団し、活動を行う「消防団研修」を行っています。</li><li>○職員は地元での消防団活動を通して地域について深く理解することができ、消防団は若年層の人材不足を解消できています。</li></ul>				
 <p>平成 29・30 年度採用職員</p> <h1>甲斐市消防団 入団研修報告書</h1>  <p>平成 31 年 3 月 甲斐市</p>					



## 「 1年間の消防団活動を振り返って 」

甲斐市消防団敷島第2分団 1部所属 秘書政策課 笹本 陽一

早いもので、消防団も二年目を迎えました。思えば、最初の一年は右も左もわからずに、先輩の後を付いていっただけでしたが、二年目になると、自分が教える立場になることもあるなど、活動の幅も増えていった様に思います。特に印象に残っているのは、一年目にはなかった新入団員による「礼式訓練」です。

夏の訓練では、総見で良い演技を見せられるよう、新入団員が一致団結し、練習に励みました。社会人になり、仕事以外で週3回集まって一つのことに取り組むという経験がなかったので、とても新鮮に感じました。先輩団員に一つ一つの動作を丁寧に教えてもらい、修正を繰り返すことで、徐々に



揃うようになりました。初めは、手の指の先の角度まで指導され、そこまでする必要があるのか疑問に思うこともありました。しかし、一度列から外れ、外側から他の団員の演技を見てみると、ほんの少しの違いでも、全体として違和感があることに気づかされ、より良い演技をするためには必要なことなのだと気づかされました。「いつもと機械の調子が違う」「この団員は体調が悪そう」など、有事の際、ちょっとした「気づき」で回避されるリスクは多々あります。礼式訓練とは言えども、細かい動作の中に意味を見つけることで、有事の際には役立つものになるということを学びました。

本番の総見では、先輩団員の指導のおかげで、訓練したとおりの演技することができ、高い評価をいただくことができました。最終的に地域を守るという目的を達成するため、団員同士の結束を深めるものとして非常に良い経験となりました。

### その他参考情報

○[http://www.city.kai.yamanashi.jp/shiseijoho/shokuinsaiyo\\_jinji/saiyojoho/3443.html](http://www.city.kai.yamanashi.jp/shiseijoho/shokuinsaiyo_jinji/saiyojoho/3443.html)